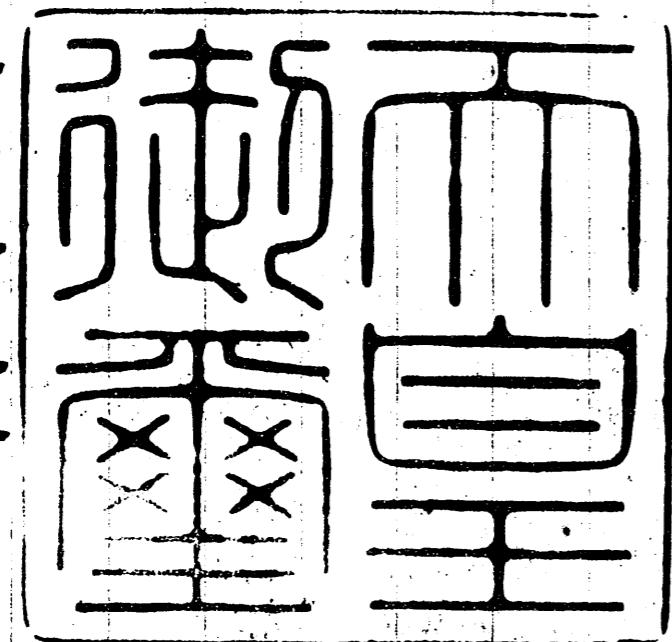


勅令第七百三十八號

朕關東州防空令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ
公布セシム

裕仁



昭和十二年十二月二十三日

内

月

内閣總理大臣公爵近衛文麿
海軍大臣 米内光政
陸軍大臣 杉山元

勅令第七百二十八號

關東州防空令

第一條 關東州ニ於ケル防空ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外防空法ニ依ル但シ同法第七條、第十三條第二項、第十四條第二項、第十七條、第二十條及第二十二條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

同法中第十六條ノ規定ヲ除クノ外勅令トアルハ關東局令トス

同法中主務大臣トアルハ滿洲國駐劄特命全權大使トス但シ同法第十一條中主務大臣トアルハ大使、關東軍司令官、旅順要港部司令官トス

同法中地方長官トアルハ關東州廳長官トシ防空委員會トアルハ關東州防空委員會トシ市町村長トアルハ市長トシ市町村トアルハ市

印

關

トシ行政執行法トアルハ大正十四年勅令第三百十六號ニ於テ依ル
コトヲ定メタル行政執行法トシ北海道又ハ府縣トアルハ關東州地
方費トス

第二條 旅順要港部司令官又ハ旅要塞司令官ハ監視網構成ノ概要
ニ付及陸海軍ノ行フ防衛ノ必要上使用ヲ禁止又ハ制限スルコトア
ルベキ土地建物ニ付防空計畫ノ設定上必要ナル事項ヲ防空計畫ノ
設定者ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ之ニ準據シテ防空計畫ヲ設定スベシ
第三條 防空計畫ノ認可ヲ爲ス場合ニ於テハ陸海軍ノ行フ防衛ニ則
應セシムル爲必要アル事項ニ關シテハ大使ハ關東軍司令官及旅順
要港部司令官ニ、關東州廳長官ハ旅順要港部司令官及旅順要港司
令官ニ協議スベシ

第四條 左ニ掲タル事項ニ關シテハ大使又ハ關東州廳長官ハ關係陸
海軍司令官及關係官廳ニ協議スベシ

一 防空計畫ノ認可ヲ爲ス場合ニ於テ當該計畫中國ニ於テ管理ス
ル土地家屋物件ノ使用ニ關スル事項
二 防空計畫ノ認可ヲ爲ス場合ニ於テ設備又ハ資材ノ整備又ハ供
用ニシテ他ノ法令ニ依リ認可又ハ許可ヲ要スルモノニ關スル事
項
三 防空法第三條第一項ノ規定ニ依ル指定及同條第二項ノ規定ニ
依ル認可
四 設備又ハ資材ノ整備又ハ供用ニシテ他ノ法令ニ依リ認可又ハ

許可ヲ要スルモノニ關スル防空法第五條ノ規定ニ依ル命令

五 防空法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ニ對スル

同法第十條第一項ノ規定ニ依ル命令

第五條 防空ノ實施ノ開始及終止ハ大使之ヲ命ズ

前項ノ命令ハ關東州廳長官及防空法第三條第一項ノ防空計畫ノ設定者ニ對シテハ大使、關係アル市長ニ對シテハ大使ノ通知ニ依リ

關東州廳長官之ヲ發ス

大使第一項ノ命令ヲ爲スニ付テハ其ノ時期及區域ニ關シテハ關東軍司令官又ハ旅順要港部司令官ノ通知ニ依ルベシ

第六條 前條ノ規定ニ依リ防空ノ實施ノ開始命令アリタルトキハ防空計畫ノ設定者ハ監視及之ニ伴フ通信ニ關シテハ直ニ之ヲ實施シ

防空上必要ナル其他ノ事項ニ關シテハ其ノ準備ヲ爲シ適宜之ヲ實施スベシ

監視及之ニ伴フ通信ハ前條ノ規定ニ依リ防空ノ實施ノ終止命令アル迄之ヲ繼續スベシ

第七條 防空ヲ實施スル場合ニ於テ航空機ノ來襲ニ關シテハ左ノ各號ノ區分ニ依リ防空警報ヲ發ス

一 警戒警報 航空機ノ來襲ノ虞アル場合

二 警戒警報解除 航空機ノ來襲ノ虞ナキニ至リタル場合

三 空襲警報 航空機ノ來襲ノ危険アル場合

四 空襲警報解除 航空機ノ來襲ノ危険ナキニ至リタル場合

關東軍司令官、旅順要港部司令官又ハ旅順要塞司令官ノ發スル防

空警報ヲ以テ前項ノ防空警報トス

第八條 防空法第八條及第十條第三項ニ規定スル燈火管制ニ關スル

命令ハ大使之ヲ定ム

大使前項ノ命令ヲ定ムルニ付テハ燈火ノ分類、管制ノ程度其ノ他軍事上必要ナル事項ニ關シテハ關東軍司令官又ハ旅順要港部司令官ノ通知ニ依ルベシ

第九條 防空法第十三條第一項ノ規定ニ依リ補償ヲ受クベキ者補償ニ付不服アルトキハ其ノ金額ノ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ、供用、收用又ハ使用ノ後六月ヲ経過シテ補償金額ノ決定ノ通知ヲ受ケザルトキハ其ノ期間經過シタル日ヨリ六月以内ニ大使ノ定ムル所ニ依リ其ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ハ防空法第十四條第一項ノ實費辨償ニ之ヲ準用ス
第十條 國庫ハ豫算ノ範圍内ニ於テ大使ノ定ムル所ニ依リ左ノ諸費ニ對シ其ノ二分ノ一以内ヲ補助ス

一 防空法第十五條第一項ノ規定ニ依リ關東州地方費、市又ハ同法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ノ負擔スル費用
二 防空法第十五條第二項ノ規定ニ依リ特殊施設ノ管理者又ハ所有者ノ負擔スル費用

三 關東州防空委員會ニ關シ關東州地方費又ハ市ノ負擔スル費用
第十一條 大使防空法第三條第一項、第五條、第六條、第十一條及第二十一條ノ規定ニ關スル事項ニ付規定ヲ設ケントスルトキハ關東軍司令官及旅順要港部司令官ニ協議スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

内

開